

目次

I. 2017サイエンスメンターワークショップ開催→	16~20 ページ
II. イチオシ本の紹介→	21 ページ

I. 2017サイエンスメンターワークショップ開催

先の3月29日~30日、第一回サイエンスメンターワークショップが早咲きの桜が満開の中で行われました。その様子をお届けします。メンティ16名全員が参加し、メンティOB・OG7名とメンター11名にご参加いただきました。

当日は3月にしては暖かい気候に恵まれ、施設内の桜がすでに散り始めていました。

12:00の開会にあたって委員長の高橋正征先生から本プログラムの目的についてお話しいただきました。

それからメンティたちは互いに初めて顔を合わせたせいか、緊張している様子でした。

昼食後には株式会社オリイ研究所 代表取締役所長 吉藤健太郎氏の講演でした。内容は以前にMentor Newsでも紹介したご著書『「孤独」は消せる。』を中心にお話しいただきました。



吉藤氏の講演風景

その内容もさることながら、その人柄もあってかすっかり引き込まれて、あっという間の90分間でした。



講演後、メンティと交流していただきました。

それから3月末での利用者3名（名古屋大学教育学部附属高等学校 伊藤平さん、攻玉社高等学校 右田陽さん、鈴鹿工業高等専門学校 大久保和樹さん）による研究発表が行われ、その後に大島美恵子会長から修了証書授与、委員長高橋正征先生の総評をいただきました。

日時：平成30年3月29日（木）～30日（金）
会場：多摩山情報教育センター 〒206-0024 東京都多摩市諏訪2-5-1 TEL：042-372-7070

時間	内容	場所
3月29日（木）		
11:00～11:30	受付開始	504教室
11:30～12:00	サイエンスメンターワークショップ開会：オリエンテーション（高橋委員長より挨拶）	
12:00～12:30	昼食	スマイルホテル カフェテリアC
13:20～13:30	休憩・移動	
13:30～15:00	吉藤健太郎氏（株式会社オライ研究所代表取締役所長）講演	
15:00～15:10	Q&A	
15:10～15:15	大島会長より挨拶	504教室
15:15～15:30	1.伊藤平 国立名古屋大学教育学部附属高等学校/2年生/「人工衛星から見た地表の月影の解析」	
15:30～15:45	2.右田陽 私立攻玉社高等学校/2年生/「冷却処理によるヤマトシジミの卵殻質解析」	
15:45～16:00	3.大久保和樹 国立鈴鹿工業高等専門学校/4年生/「量子力学に関する知見を深める」	
16:00～16:15	大島会長より修了証書授与・高橋委員長総評・写真撮影	
16:15～16:45	グループワーク開始：オリエンテーション	
16:45～16:55	休憩・移動	
16:55～18:30	A.グループワーク：メンティ・OBとOG プログラム① 各自の小部屋へ集合：個人シート作成 プログラム② グループ内で発表し、ディスカッション後に 代表者を選出	B.意見交換会：メンター・事業委員・担当教員 テーマ：「サイエンスメンター事業について」 A. 601教室 B. 504教室 602教室 603教室 604教室
18:30～19:20	夕食	スマイルホテル カフェテリアC
19:20～19:30	休憩・移動	
19:30～20:20	プログラム③ メンティグループ代表者発表後、質疑応答	504教室
20:20～20:30	休憩・移動	
20:30～22:30	懇親会	7Fアルトマール
	各自の部屋に戻り、明日の準備	スマイルホテル
	就寝	
3月30日（金）		
7:00～8:30	朝食	スマイルホテル カフェテリアC
8:30～8:45	チェックアウトを済ませてから集合	
	移動・集合	
8:45～11:30	統計実習 講師：東京大学名誉教授 松原望先生	406教室
11:30～12:00	FeelNoteの説明・閉会	
12:00～13:00	昼食・解散	スマイルホテル カフェテリアC



左前：名古屋大学教育学部附属高等学校 伊藤平さん



攻玉社高等学校 右田陽さん



左前：鈴鹿工業高等専門学校 大久保和樹さん



東京学芸大学3年 中垣周平さん

次にメンティOB・OGがリーダーとなって行う、メンティのグループワークが始まり、OB・OGのリーダーである東京学芸大学3年 中垣周平さんが司会進行でグループワークの説明してもらいました。



グループごとに分かれて個人シートを作成中

グループワークの目的は、先輩メンティをコーディネーターにメンティ同志のディスカッションを通じ、

- 1) メンティ同志、先輩との人的ネットワーク作りのきっかけの場とする。
- 2) 今回の研究や自分自身の現状を確認すると同時に、今後の自身の進路のイメージの中でこの研究はどう位置づけられるのか、研究者としての初心、ビジョンを考えてみる機会とする、ということです。

メンティは4人のグループに分かれてそれぞれの部屋で、自分はどうな人か、自分にとって研究とは？という内容を、パワーポイントを使って、数枚程度にまとめる作業を行いました。

メンティたちが別の部屋で作業している間、メンティ・事業委員・事務局は意見交換を行いました。貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

夕食後にはまた、メンティたちも集合し、グループの代表者が発表を行いました。



カフェテリアC 夕食風景



グループ代表による発表風景

代表者の発表後には、急きょそれぞれのグループリーダー（OB・OG）に代表者が選ばれた経緯を説明してもらいました。メンティからの質問や、メンターそれぞれに意見をいただきました。

終了後、場所を変えて参加者全員による懇親会が行われました。

その会場では、次年度以降に JSEC に応募を考えているメンティには参考になればと、名古屋大学教育学部附属高等学校 伊藤平さんに先の JSEC2017 最終審査で行った研究発表を実演してもらいました。



JSEC2017 の最終審査で行った研究発表を実演

他にもメンターの三浦裕一先生が作成された物理の実験動画を見ながら一緒に考えてみようという時間がありました。

最後はメンティOB・OGからOB・OG会の立ち上げの宣言があり、初日は無事に終了いたしました。



メンターの三浦裕一先生による物理講座風景

Ⅱ. イチオシ本のご紹介

続いて、最近に読んで面白いだけでなく、研究者を目指しているメンティには、研究者のことがよくわかる本としてイチオシの本を見つけましたのでご紹介いたします。

でもこの本のお勧めは何と言ってもその内容です。

「バッタを倒しにアフリカへ」

前野ウルド浩太郎著

前野ウルド浩太郎氏：昆虫学者（通称：バッタ博士）国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター研究員。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。博士（農学）。京都大学白眉センター特定助教を経て、現職。アフリカで大発生し、農作物を食い荒らすサバクトビバッタの防除技術の開発に従事。モーリタニアでの研究活動が認められ、現地のミドルネーム「ウルド（〇〇の子孫の意）」を授かる。著書に第4回いける本大賞を受賞した『孤独なバッタが群れるとき—サバクトビバッタの相変異と大発生』（東海大学出版部）がある。

新書大賞2018を受賞されたこの本の中にはメンターでお世話になったクマムシ博士の堀川大樹先生のこと書かれています。

この表紙でバッタの恰好をされているのが前野氏ご本人です。



<https://www.amazon.co.jp/%E3%83%90%E3%83%83%E3%82%BF%E3%82%92%E5%80%92%E3%81%97%E3%81%AB%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%AA%E3%82%AB%E3%81%B8-%E5%85%89%E6%96%87%E7%A4%BE%E6%96%B0%E6%9B%B8-%E5%89%8D%E9%87%8E%E3%82%A6%E3%83%AB%E3%83%89%E6%B5%A9%E5%A4%AA%E9%83%8E/dp/4334039898> より

～事務局 加瀬より～

先月はワークショップの準備等でメンターニュースをお休みさせていただきました。また、皆さんの役に立つことなど、ご紹介していきますのでご購入のほどよろしくお願いいたします。

メンティ・先生・メンターのどなたでも、ニュースやニュースレターに関して、ご希望があれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。また、こんな情報を載せたい・知りたいという要望も大歓迎です。

発行元： 公益財団法人 日本科学協会 企画室

サイエンスメンターニュース 第4巻 第3号（通巻39号）

発行日：2018年4月23日

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F TEL:03-6229-5360 FAX:03-6229-5369

URL: <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/>

E-mail: kikaku@jss.or.jp